

「横浜ユニバーサルツーリズム事業」

について



令和2年8月31日



公益財団法人 横浜観光コンベンション・ビューロー
YOKOHAMA CONVENTION & VISITORS BUREAU

1. 事業の目的

障害等の有無や年齢にかかわらず、すべての人が安心して旅行を楽しめる都市・横浜を目指し、関係団体や事業者と連携して、受入環境の向上やプロモーションを実施すること。

※ユニバーサルツーリズム

ユニバーサルツーリズムとは、すべての人が楽しめるよう創られた旅行であり、障がい等の有無や年齢にかかわらず、誰もが気兼ねなく参加できる旅行を目指しています。 <観光庁のWebページより抜粋>

2. 背景

(1) 社会的要請への対応

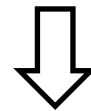
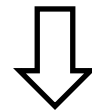
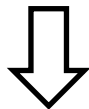
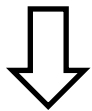
- ・ 障害者差別解消法の施行
- ・ バリアフリー法
- ・ 東京2020パラリンピックの開催
～IPCアクセスビリティ作業部会設置

(2) 観光需要の変化への対応

- ・ 超高齢社会
- ・ SDGs ～アクセシブルでインクルーシブな社会的基盤やサービスの実現

3. 事業方針

| | 言語 | 文化 | 年齢 | 障害 | 性別 | その他 |
|-----|--------|--------------|------------|---------------------|-------|-----|
| 対象例 | 訪日外国人等 | ムスリム、ベジタリアン等 | 高齢者、子育て世代等 | 肢体不自由者、視覚障害者、聴覚障害者等 | LGBT等 | |



| | | | | | |
|-----------|-----------------|------------------|--|--|--|
| 多言語対応強化事業 | 多文化に対応した受入・誘客事業 | ユニバーサルツールリズム推進事業 | | | |
| | 横浜おもてなし事業 | | | | |

3. 事業方針

受入環境向上（ソフト面での改善）

- ・バリア情報の調査・集約
- ・人材育成、気運醸成
- ・相談機能強化
- ・コーディネート機能の強化

誘客（需要の創出）

- ・集約情報の発信
- ・全国の旅行会社等へのセールス活動

4. 事業の概要(ロードマップ)

| 年度 分類 \ | H29 | H30 | H31(ラグビーW杯) | R2 | R3 (オリ・パラ) 以降 |
|--------------------------|-----------------------|--|--|--|---|
| テーマ | 「実際に楽しめる横浜」の 発掘 | 調査とPRの徹底 | UT情報の多言語化と 蓄積情報活用 | 蓄積情報活用 | 民間主導のUT促進 事業者連携強化 |
| 実施主体 | 横浜市 | YCVB | YCVB | YCVB | YCVB |
| 情報集約・ 調査 | | ■市内ホテルの 対応状況調査 | ■観光施設の対応状況 調査 | ■ニーズ等旅行商品造 成への課題調査 ■バリアフリー対応状況 更新 | ■バリアフリー情報 更新 |
| 情報発信・ プロモーション | ■モデルコース①策定 (都心臨海部) | ■モデルコース②策定 (新横浜) ■ウェブアクセシビリティ ■RWCに向けたセールス ■モデルコース①日本語 印刷 | ■モデルコース①② 【英訳】 ■バリアフリー情報ページ 新設 ■モデルコース①英語印 刷②日本語・英語印刷 | ■バリアフリー情報ペー ジ活用 | ■バリアフリー情報 ページ活用 ■プロモーション ■商品造成にむけた セールス |
| 人材育成 | ■研修(概論) | ■研修(概論、横浜現状) | ■研修(パラスポーツに学 ぶ) | ■研修 | ■研修(オリ・パラ特 化) |
| 相談窓口機能、 コーディネート 機能 | | ■案内所への情報徹底 | | | ■YCVBのコーデ ィネート機能強化 (BtoB) |

5. 取組

- (1) アクセシビリティ対応状況調査
- (2) 関係団体ヒアリング
- (3) モデルコース策定とマップ製作（日・英）
- (4) ウェブサイトでの情報発信
- (5) セミナー開催
- (6) 商品造成に向けたセールス

5. 取組

(1) アクセシビリティ対応状況調査

横浜市内観光関連施設アクセシビリティ対応状況調査

1. 目的

横浜市内の観光関連施設を対象に、高齢者や障がい者、外国人、乳幼児等あらゆる人に快適な横浜観光を提供するために、どんな人にも利用しやすい施設情報（アクセシビリティ）を調査することを目的とする。

2. 調査期間

2019年11月1日～2019年12月31日

3. 調査対象

横浜市の高い来客動員実績のある主要な観光施設、商業施設、文化施設、スポーツ施設、海上遊覧施設（109施設）

3. 調査手法

現地調査及びWEBによるアンケート調査

- 109施設内訳

- 1) アンケート調査対象施設 109施設
- 2) 現地調査対象施設 54施設

4. 回収状況

- 1) アンケート回収数：97票（回収率：89.8%）

5. 取組

(1) アクセシビリティ対応状況調査 モニター調査



MARK IS 多目的トイレ視察



MARK IS みなとみらい屋上の「みんなの広場」視察



オービィ横浜見学調査



マリンシャトル乗船調査（スロープの確認）

5. 取組

(2) 関係団体ヒアリング

公益社団法人横浜市身体障害者団体連合会



横浜市立若葉台特別支援学校



5. 取組

(3) モデルコース策定とマップ製作 (日・英)

A 桜木町～元町中華街

横浜ユニバーサルツーリズム・モデルコース
桜木町～元町・中華街

主要スポットが近く開港の道を歩く

このコースは、開港当時の主要な通りを歩き、歴史的な建物や公園を訪ねる。また、最新の観光スポットや美術館も楽しめる。

START 桜木町駅

GOAL 元町中華街

Yokohama Barrier-Free Access Map - Recommended Itineraries -

Stroll around the downtown of Yokohama Bay Area

This map provides a recommended itinerary for a barrier-free stroll around the downtown of the Yokohama Bay Area. The route is marked in orange and includes stops like Sakuragi Pier, Yamashita Park, and various museums.

START Sakuragi Station

GOAL Chinatown

B 新横浜～元町中華街

横浜ユニバーサルツーリズム・モデルコース
新横浜～元町・中華街

横浜の玄関口から、世界最大級の中華街へ

このコースは、新横浜駅から元町中華街まで、横浜の主要な観光スポットを訪ねる。また、最新の観光スポットや美術館も楽しめる。

START 新横浜駅

GOAL 元町中華街

Yokohama Barrier-Free Access map

1 Day Trip to Chinatown from Shin-Yokohama

This map provides a recommended itinerary for a barrier-free 1-day trip to Chinatown from Shin-Yokohama. The route is marked in orange and includes stops like Nissan Stadium, Shin-Yokohama Station, and various museums.

START Shin-Yokohama Station

GOAL Chinatown

5. 取組

(4) ウェブサイトでの情報発信 <https://www.welcome.city.yokohama.jp/accessibility/>

横浜観光局のバリアフリー対応施設 横浜スタジアムのバリアフリー対応施設 横浜ユニバーサル・モデルコース 主要観光ルート

アクセシビリティ (バリアフリー) 情報

市内観光施設バリアフリー対応について
市内観光施設は、バリアフリー対応施設として整備されています。また、バリアフリー対応施設として整備されています。

市内ホテルバリアフリー対応について
市内ホテルは、バリアフリー対応施設として整備されています。また、バリアフリー対応施設として整備されています。

横浜ユニバーサル・モデルコース
横浜観光局が、バリアフリー対応施設として整備されています。また、バリアフリー対応施設として整備されています。

横浜ユニバーサル・モデルコース

1. 主要スポットが詰る観光の道を楽しむ
(高層ビル、山下公園、中華街ほか)
主要スポットが詰る観光の道を楽しむ
みらい大通、山下公園、中華街ほか

2. みなとあらいを楽しむ
(高層ビル・ショッピング)
みなとあらいを楽しむ
高層ビル・ショッピング

3. 歴史・観光地を中心にあつめる
歴史観光コース
歴史・観光地を中心にあつめる
歴史観光コース

4. 新横浜 (国定スタジアム・ワールド・博物館ほか) と中華街周辺を巡るコース
新横浜と中華街周辺を巡るコース
国定スタジアム・ワールド・博物館ほか

5. 取組

(5) セミナー開催



電動車いすサッカー元日本代表 野田氏による講演



日本財団パラリンピックサポートセンター職員/
東京2020出場を目指すパラアスリート 山本氏による「あすチャレアカデミー」

【参加募集】ユニバーサルツーリズム推進セミナー

観光からSDGsを考える パラスポーツに学ぶこれからのユニバーサルツーリズム

「誰ひとり取り残さない」ための国連・持続可能な開発目標 (SDGs) 達成には、障がい分野における課題解決も重要なテーマです。

(公財)横浜観光コンベンション・ビューローでは、国内外から多様な旅行者をお迎えするために、ユニバーサルツーリズムの普及・促進に取り組んでいます。その一環として、このたび観光関連事業者向けの研修を実施いたします。2020年は東京オリンピック・パラリンピック競技大会が実施されることから、パラスポーツで活躍されるアスリートを講師に迎え、当事者ならではのリアルな視点で学びます。



■第一部 「横浜F・マリノスと障がい者サッカーの取組みについて」 講演

障がい者サッカー競技の説明、日常生活・競技生活、障がいについて、これからの想い

電動車いすサッカー-日本代表元キャプテン/
電動車いすサッカークラブ「横浜フロッカーズ」選手 野田 拓郎氏
横浜F・マリノス フットロー 選手 小林 佑平氏
横浜マリノス株式会社 みれあひ・ホームタウン事業課課長 望月 暹氏

●「横浜フロッカーズ」とは
2011年フロッカーズ13年目で初の全日本選手権を制した障がい者の電動車いすサッカークラブです。
●「F・マリノス フットロー」とは
横浜F・マリノスの下部組織で、知的障がいを持つ小学生から社会人で構成されるチームで、現在約80名の選手が所属。同クラブチームは平成30年度から障害者の社会人リーグに参加し、障がい者と健常者の垣根を越えて活躍しています。



■第二部 「あすチャレ! Academy」 体験セミナー

プログラム講師：日本財団パラリンピックサポートセンター

障がい者の「リアル」を当事者講師から聞き、学び、一緒に考える研修プログラム

日本財団パラリンピックサポートセンター職員/
東京2020出場を目指すパラアスリート 山本 恵理氏

●研修プログラムについて
当事者講師による障がい体験のレクチャー、障がいのコミュニケーション体験、支援者目線で考えるグループワークを軸として、パラリンピックやパラスポーツを題材に知識を学びだけでなく実際の行動へ移せるように構成されています。

【実施日時】 令和2年 2/4(火)

13時45分～16時45分終了予定 (13:30受付開始)

【料金】

賛助会員無料、
非賛助会員 (横浜市内在業者のみ) 2,000円/人

【申込方法】

裏面の申込書に必要事項を記入の上、メールかFAXにて申込みください。

【申込先】

裏面参照

【募集締切】 令和2年1月30日(木)

※申込み多数の場合は先着順とさせていただきます。
※また、その際は当該団賛助会員様を優先させていただきます。

【定員】 70名

【会場】 障害者スポーツ文化センター 横浜ラポール
2階大会議室 (港北区鶴山町1752)

※セミナー終了後、「横浜ラポール」の施設見学を実施します。(15分程度、先着15名)



主催：公益財団法人横浜観光コンベンション・ビューロー
お問合せ：事務局 [(株)近畿日本ツーリスト首都圏 横浜支店] 担当：熊木・青木・上地・木俣 TEL:045-277-0771

5. 取組

(5) セミナー開催 メディア掲載実績

『ニュースLINK』(テレビ神奈川)



『【デイリージェイコム】デイリーニュース 横浜』(ジェイコム/CATV)



5. 取組

(6) 商品造成に向けたセールス

令和2年度
修学旅行誘致促進事業助成金・団体旅行助成金



| 区分 | 対象 | 対象人数/条件 | 助成金額 | 併用申請 |
|--------------------------|---------------------------------|--|--|-------------------------|
| (1) 宿泊助成金 | 中学校 高等学校 中等教育学校 特別支援学校 | ① 40人～119人 ② 120人以上 ※1泊あたりの宿泊人数 | ①10,000円 ②30,000円 | (4)、(5)との併用申請可 |
| (2) 連泊助成金 (2泊以上連泊の場合) | | | ①30,000円 ②50,000円 | (4)、(5)との併用申請可 |
| 【特別支援学校対象】 (3) 宿泊助成金 | | 20人以上 | 30,000円 | (4)、(5)との併用申請可 |
| (4) キャリア教育プログラム助成金 | | 当財団教育旅行ウェブサイト記載「キャリア教育プログラム in 横浜」掲載施設のプログラム利用 | 500円/人 上限 20,000円/校 | (1)～(3)のいずれかと(5)との併用申請可 |
| (5) 団体貸切バス支援助成金 | | 小学校、中学校 高等学校 中等教育学校 特別支援学校 一般団体 | 貸切バスの発着地が横浜市以外の地域であること。 ただし、特定地域(※)に関しては航空機 or 鉄道+貸切バスの併用可能 | 発地区分により異なる(※1) |

訪れるすべての方々が
安心して快適に楽しめる横浜を目指して！



公益財団法人 横浜観光コンベンション・ビューロー
YOKOHAMA CONVENTION & VISITORS BUREAU